

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：上谷沼周辺の自然を守る会

26A-04

代表者：代表 貴家 章子

URL : <https://ameblo.jp/furusato-uwayanuma/>

1. 活動が必要とされた状況

上谷沼調節池は治水が目的の河川用地であるが、散策やスポーツ、レジャーなど利用の仕方が多岐にわたっている。

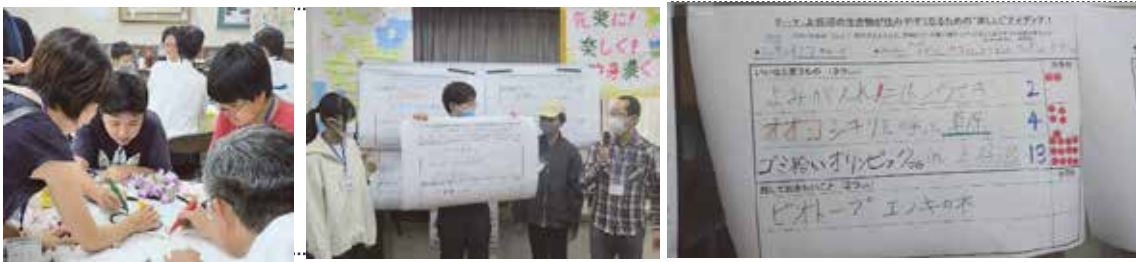
当会は、観察会や外来植物抜き、環境教育を通して自然への理解を呼び掛けているが、この場所の生物多様性を考慮した計画がないことが弱点になっている。そこで、上谷沼に関心のある方々が意見交換を繰り返すことにより、自然を守っていくためのルールを地域に根付かせたい。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・ 実施時期 第1回 令和5年7月22日（土） 第2回 12月16日（土）
- ・ 参加人数 第1回 35名 第2回 25名
- ・ 活動内容

「どうする？上谷沼のこれから」をテーマに、上谷沼の自然を後世に残していくためのアイデアを自由に出し合いながらお互いの思いをしってもらうことに重点を置いた。

さいたま市市民協働推進課の推薦によるファシリテーターの方々に行進を担当してもらい、和やかな雰囲気の中、グループに分かれた一人一人がテーマに対しての意見を書き出していった。最後にグループごとにアイデアを発表。参加者全員でアイデアを共有するようにした。第2回では、1回目で出されたアイデアを具体的に実現していく方法を考え出すことを目標としてワークショップを開催した。第1回と同じように、グループごとに意見を書き出し、発表する形をとった。



3. 活動の成果

- ①ファシリテーターの工夫により、知らない人同士でも明るい雰囲気でき意見交換できた。
- ②大人の考えだけでなく、若い世代の自由な発想を聞き出すことができた。若い世代の活躍、発言で将来の希望が持てそうである。
- ③上谷沼への貴重な提案がたくさんあり、これからの活動に役立たせたい。
- ④県議、川口市議の参加があり、上谷沼調節池の自然保護への提言につなげていきたい。

4. 今後に残された課題

- ①第2回では、初めて参加した方が多く、第1回を一步進めた意見交換ができなかった。
- ②若い世代から出されたアイデアや自然に対する見方を、一般の人に向け普及していくことが今後の課題である。